

第3期子ども・子育て支援事業計画における量の見込と確保方策（案）

①教育・保育事業

計画期間：令和7年度～令和11年度

(1)1号認定

【単位：人】

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み					
市民による利用	839	739	671	597	553
他市からの受入					
量の見込み合計①	839	739	671	597	553
確保方策					
幼稚園・認定こども	1,532	1,517	1,472	1,472	1,472
他市町での受入					
確保方策合計②	1,532	1,517	1,472	1,472	1,472
差引(②-①)	693	778	801	875	919

各年度4月1日現在の数値

【量の見込み】

●1号認定については利用が減少傾向となっています。

【確保方策】

●認定こども園及び市立幼稚園において量の見込みを上回る供給体制が確保されており、1号認定の適正な供給体制を維持します。

●市立幼稚園では、少子化による集団規模の確保と3歳児保育や長時間保育ニーズへの対応を図ります。

(2)2号認定

【単位：人】

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み					
市民による利用	1,220	1,188	1,181	1,140	1,125
他市からの受入					
量の見込み合計①	1,220	1,188	1,181	1,140	1,125
確保方策					
保育所・認定こども	1,203	1,188	1,208	1,208	1,208
地域型保育					
企業主導型保育	17				
認可外保育					
他市町の受入					
確保方策合計②	1,220	1,188	1,208	1,208	1,208
差引(②-①)	0	0	27	68	83

各年度4月1日現在の数値

【量の見込み】

●2号認定については、認定率が上昇する一方で、子ども数の減少が予想されることから量の見込みは微減となっています。

【確保方策】

●認定こども園及び保育所において供給を確保していきます。なお、市内の私立幼稚園は既に全て認定こども園への移行を完了しており、引き続き保育ニーズに対応していきます。

(3)3号認定

0歳

【単位:人】

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み					
市民による利用	56	54	53	51	48
他市からの受入					
量の見込み合計①	56	54	53	51	48
確保方策					
保育所・認定こども	104	104	104	104	104
地域型保育	17	17	17	17	17
企業主導型保育					
認可外保育					
他市町の受入					
確保方策合計②	121	121	121	121	121
差引(②-①)	65	67	68	70	73

各年度4月1日現在の数値

1・2歳

【単位:人】

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み					
市民による利用	575	569	577	588	586
他市からの受入					
量の見込み合計①	575	569	577	588	586
確保方策					
保育所・認定こども	555	555	555	555	555
地域型保育	97	97	97	83	83
企業主導型保育	1		3	7	2
認可外保育					
他市町の受入					
確保方策合計②	653	652	655	645	640
差引(②-①)	78	83	78	57	54

各年度4月1日現在の数値

【量の見込み】

●3号認定については、認定率の増加が子ども数の減少をわずかに上回り、見込み量は微増となっています。

【確保方策】

●私立認定こども園、保育所及び小規模保育事業など既存の施設で対応していきます。

②地域子ども・子育て支援事業

計画期間：令和7年度～令和11年度

1	放課後児童健全育成事業 【単位：人】	事業内容	保護者が就労等により昼間家庭にいない児童たちに、遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図る事業です。				
		年度	R7	R8	R9	R10	R11
		小学1年生	397	378	343	329	324
		小学2年生	324	365	347	315	302
		小学3年生	219	247	278	265	240
		小学4年生	132	105	119	134	127
		小学5年生	35	38	30	34	38
		小学6年生	11	11	12	10	11
		量の見込 (単位：人)	1,118	1,144	1,129	1,087	1,042
確保方策 (単位：人)	1,118	1,144	1,129	1,087	1,042		
	量の見込と確保方策の考え方	各年度4月1日現在の数値 【量の見込み】 ●計画期間中に見込まれる将来見通し人口、過去の児童クラブの利用率などを基準に利用を見込みました。地区により利用は増加するものの、全体としては減少に向かう見込みです 【確保方策】 ●定員を超えるクラブについては、クラブの増設や近隣クラブへの送迎等の対応を検討することにより、量の見込みへの対応を図ります。					
2	時間外保育事業 【単位：人／年】	事業内容	保護者の就労状況等により、保育所等の通常の保育時間を超え、延長して保育を実施する事業です。				
		年度	R7	R8	R9	R10	R11
		量の見込 (単位：人／年)	1,335	1,329	1,335	1,311	1,296
		確保方策 (単位：人／年)	1,335	1,329	1,335	1,311	1,296
		量の見込と確保方策の考え方	【量の見込み】 ●ニーズ調査において示された潜在的ニーズ等を考慮し、令和2年度以降で最も利用率の高かった年度を基準として、見込み量を算出しています。 【確保方策】 ●引き続き、市内すべての保育所、認定こども園、小規模保育施設で事業を実施することにより、量の見込みへの対応を図ります。				
3	子育て短期支援事業(ショートステイ) 【単位：人日／年】	事業内容	保護者の入院や育児疲れなどにより一時的に養育困難となった児童について、児童福祉施設で保護者に代わって、一定期間必要な保護を行う事業です。				
		年度	R7	R8	R9	R10	R11
		量の見込 (単位：人日／年)	34	34	34	34	34
		確保方策 (単位：人日／年)	34	34	34	34	34
		量の見込と確保方策の考え方	【量の見込み】 ●過去の実績と潜在的ニーズ等を考慮し、見込み量を算出しています。 【確保方策】 ●複数の児童養護施設での事業実施により、受入体制の確保を図っていることから、事業の継続実施により量の見込みへの対応を図ります。				
4	地域子育て支援拠点事業 【単位：人日／年】	事業内容	地域の身近なところで、子育て中の親子が気軽に交流し、子育て相談ができる場所を提供する事業です。(多世代交流館子育て交流ひろば、駅前子育て交流ひろば、地域子育て支援センター、ウッディ子育て交流ひろばの4施設)				
		年度	R7	R8	R9	R10	R11
		量の見込 (単位：人日／年)	18,624	18,120	18,144	18,060	17,652
		確保方策 (単位：人日／年)	18,624	18,120	18,144	18,060	17,652
		量の見込と確保方策の考え方	【量の見込み】 主な利用対象である在宅の0～2歳児の人数が、保育ニーズの増加と少子化により減少する見込であるが、ニーズ調査等から見込まれる潜在的ニーズを考慮して、見込み量を算出しています。 【確保方策】 ●子育て交流ひろば4施設での事業を継続しつつ、出張型ひろばの実施等サービスを向上させながら、量の見込みへの対応を図ります。				

5	一時預かり事業 (幼稚園型) 【単位:人日/年】	事業内容	幼稚園等で通常の保育時間を超え、延長して子どもを預かる事業です。				
		年度	R7	R8	R9	R10	R11
		量の見込 (単位:人日/年)	43,879	38,649	35,093	31,223	28,921
		確保方策 (単位:人日/年)	43,879	38,649	35,093	31,223	28,921
		量の見込と 確保方策の考え方	<p>【量の見込み】</p> <p>●ニーズ調査において示された潜在的ニーズ等を考慮して、利用率が高止まりする見込みとしていますが、利用対象である1号認定の子どもの人数が保育ニーズの増加と少子化により減少するため、見込み量は減少傾向となっています。</p> <p>【確保方策】</p> <p>●認定こども園、市立幼稚園で引き続き事業を実施し、量の見込みへの対応を図ります。</p>				
6	一時預かり事業 (保育所等) 【単位:人日/年】	事業内容	保護者の出産やリフレッシュ、短期のパートタイム就労等、子育て家庭のニーズに合わせて、保育所等で子どもを一時的に預かる事業です。				
		年度	R7	R8	R9	R10	R11
		量の見込 (単位:人日/年)	2,746	2,467	2,453	2,408	2,328
		確保方策 (単位:人日/年)	2,746	2,467	2,453	2,408	2,328
		量の見込と 確保方策の考え方	<p>【量の見込み】</p> <p>●ニーズ調査において示された潜在的ニーズ等を考慮し、令和2年度以降で最も利用率の高かった年度を基準として、見込み量を算出しています。主な利用対象である保育所等を利用していない子どもの人数が、保育ニーズの増加と少子化により減少するため、また、こども誰でも通園制度へ一部移行が見込まれるため、見込み量は減少傾向となっています。</p> <p>【確保方策】</p> <p>●制度の周知を図りながら私立保育園、認定こども園等で引き続き事業を実施し量の見込みへの対応を図ります。</p>				
7	病児保育事業 【単位:人日/年】	事業内容	病中や病後の子どもを保護者が家庭で保育できない場合に、一時的に専用スペースにおいて看護師と保育士が医師と連携しながら保育する事業です。				
		年度	R7	R8	R9	R10	R11
		量の見込 (単位:人日/年)	138	151	151	151	151
		確保方策 (単位:人日/年)	138	151	151	151	151
		量の見込と 確保方策の考え方	<p>【量の見込み】</p> <p>●ニーズ調査において示された潜在的ニーズ等を考慮し、利用実績の中心となる5歳児までの子ども数に対して、令和2年度以降で最も利用率の高かった年度を基準として、定員増による利用増を見込み、量を算出しています。</p> <p>【確保方策】</p> <p>●制度の周知を図りつつ、事業の継続実施により引き続き量の見込みへの対応を図ります。</p>				
8	一時預かり事業 (幼稚園型除く) ファミリーサポートセンター(就学前)	事業内容	子どもを預かってほしい保護者(依頼会員)と、預かることのできる人(協力会員)とが育児の相互援助活動を行う会員制のしくみです。				
		年度	R7	R8	R9	R10	R11
		量の見込 (単位:人日/年)	1,082	1,014	992	965	915
	ファミリーサポートセンター(就学後小学生)	年度	R7	R8	R9	R10	R11
		量の見込 (単位:人日/年)	1,183	1,156	1,119	1,066	1,024
		確保方策 (単位:人日/年)	1,183	1,156	1,119	1,066	1,024
	【単位:人日/年】	量の見込と 確保方策の考え方	<p>【量の見込み】</p> <p>●就学前、小学生別に令和2年度以降で最も利用率が高かった年度を基準として、過去の実績等からの見込まれる潜在的ニーズ等を考慮し、見込み量を算出しています。</p> <p>【確保方策】</p> <p>●制度の周知を図るとともに、安心して利用できる環境整備に努めながら、量の見込みへの対応を図ります。</p>				

9	利用者支援事業 【単位：か所】	事業内容	子育て家庭のニーズに合わせて、保育所・認定こども園などの施設や、地域の子育て支援などから必要な支援を選択して利用できるよう、情報提供や相談・援助を行う事業です。					
		年度	R7	R8	R9	R10	R11	
		量の見込(単位：か所)	こども家庭センター型	1	1	1	1	1
		確保方策(単位：か所)	こども家庭センター型	1	1	1	1	1
		年度	R7	R8	R9	R10	R11	
		量の見込(単位：か所)	特定型	1	1	1	1	1
		確保方策(単位：か所)	特定型	1	1	1	1	1
		年度	R7	R8	R9	R10	R11	
		量の見込(単位：か所)	基本型	2	2	2	2	2
		確保方策(単位：か所)	基本型	2	2	2	2	2
	量の見込と確保方策の考え方	【量の見込みと確保方策】 ●全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ母子保健と児童福祉が一体的に相談支援を行う、子ども家庭センター「こども家庭センター型」を設置し、切れ目のない相談支援体制の強化を図ります。また、「基本型」2か所の相談窓口、「特定型」保育コンシェルジュを継続配置し、利用者支援事業の充実を図ります。						
10	妊婦健康診査 【単位：人・回／年】	事業内容	妊婦が健やかな妊娠期を過ごし、安心して出産を迎えていただくための健康診査です。					
		年度	R7	R8	R9	R10	R11	
		量の見込(単位：人／年)	731	742	730	705	691	
		(健診回数)	5,117	5,194	5,110	4,935	4,837	
		確保方策(単位：人／年)	731	742	730	705	691	
	量の見込と確保方策の考え方	【量の見込み】 ●市内の出生数の見込みに基づいて、見込み量を算出しています。1人の妊婦が複数年度にまたがって受診することが多いため、年度当たりの出生数より見込み量が多くなっています。健診回数は、実績に基づき1人当たり7回として見込み量を算出しています。 【確保方策】 ●今後も妊婦が安心して出産を迎えることができるよう、対象者への受診勧奨と助成を継続しながら、量の見込みへの対応を図ります。						
11	乳児家庭全戸訪問事業 【単位：人／年】	事業内容	乳児のいる家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や子育ての相談に応じる事業です。(新生児訪問、こんにちは赤ちゃん事業)					
		年度	R7	R8	R9	R10	R11	
		量の見込(単位：人／年)	477	470	477	469	453	
		確保方策(単位：人／年)	477	470	477	469	453	
	量の見込と確保方策の考え方	【量の見込み】 ●年度中に出生した子ども全員を事業の対象とできるよう、見込み量を算出しています。 【確保方策】 ●今後も親子ともに健やかに安心して生活できることを目的に、制度の周知を行い、量の見込みへの対応を図ります。						
12	養育支援訪問事業 【単位：人／年】	事業内容	養育支援が特に必要であると判断した児童及びその保護者、又は特定妊婦に対し、養育が適切に行われるよう専門員が養育に関する相談、指導、助言など支援を図るための事業です。					
		年度	R7	R8	R9	R10	R11	
		量の見込(単位：人／年)						
		確保方策(単位：人／年)						
	量の見込と確保方策の考え方	【量の見込み及び確保方策】 ●家事・育児援助が、子育て世帯訪問支援事業に移行したため、他の事業の施策に取り組むことにより対応を図ります。						

【単位：人】 実人数

【単位：日人】 延べ人数

【単位：か所】 箇所数

新規事業 家庭支援3事業

13	子育て世帯訪問 支援事業 【単位：日人／年】	事業内容	家事・子育て等に対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラーなどがある家庭の養育環境を整え、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事・子育て等の支援を実施し、虐待リスクなどの高まりを未然に防止するための事業です。				
		年度	R7	R8	R9	R10	R11
		量の見込 <small>(単位：日人/年)</small>	190	190	190	190	190
		確保方策 <small>(単位：日人/年)</small>	190	190	190	190	190
		量の見込と 確保方策の考え方	<p>【量の見込み】</p> <p>●令和6年度における全児童数(0～17歳)に占める対象児童数と将来見通し児童数を基準に見込み量を算出しています。</p> <p>【確保方策】</p> <p>●事業の周知を図るとともに、支援を必要とする家庭に対して適切に事業を実施することにより、量の見込みへの対応を図ります。</p>				
14	児童育成支援拠点事業 【単位：人】	事業内容	養育環境等に課題を抱える児童、家庭や学校に居場所のない児童等に対して、居場所となる場を開設し、児童とその家庭が抱える多様な課題に応じて、生活習慣の形成や学習のサポート、進路等の相談支援、食事の提供等を行うとともに、状況をアセスメントし、関係機関へのつなぎを行う等の個々の状況に応じた支援を包括的に提供することにより、虐待を防止し、児童の最善の利益の保障と健全な育成を図るための事業です。				
		年度	R7	R8	R9	R10	R11
		量の見込 <small>(単位：人/年)</small>	9	9	9	9	9
		確保方策 <small>(単位：人/年)</small>	0	0	0	0	0
		量の見込と 確保方策の考え方	<p>【量の見込み】</p> <p>●令和6年度における全児童数(0～6歳)に占める対象児童数と将来見通し児童数を基準に見込み量を算出しています。</p> <p>【確保方策】</p> <p>●児童育成支援拠点事業の実施に至っていないものの、他のサービスの取組を組み合わせる等により、対応を図るとともに、事業のあり方について継続して検討していきます。</p>				
15	親子関係形成支援事業 【単位：人】	事業内容	児童との関わり方や子育てに悩みや不安を抱えている保護者及びその児童に対し、講義やグループワーク、ロールプレイ等を通じて、児童の心身の発達の状況等に応じた情報の提供、相談及び助言を実施するとともに、同じ悩みや不安を抱えている保護者同士が相互に悩みや不安を相談・共有し、情報の交換ができる場を設ける等その他の必要な支援を行うことにより、親子間における適切な関係性の構築を図るための事業です。				
		年度	R7	R8	R9	R10	R11
		量の見込 <small>(単位：人/年)</small>	60	60	60	60	60
		確保方策 <small>(単位：人/年)</small>	60	60	60	60	60
		量の見込と 確保方策の考え方	<p>【量の見込み】</p> <p>●令和6年度における全児童数(0～17歳)に占める対象児童数と将来見通し児童数を基準に見込み量を算出しています。</p> <p>【確保方策】</p> <p>●受講者のニーズに応じた事業を実施することにより、量の見込みへの対応を図ります。</p>				

【単位：人】 実人数
 【単位：日人】 延べ人数
 【単位：か所】 箇所数